

平成21年度 国立赤城青少年交流の家特別事業 開催要項

青少年自立支援者のための研究交流フォーラム

～ 体験から学び主体的に人生を生きることをめざす支援～

趣 旨	青少年の自立に取り組んでいる支援者及び自立支援に関心を有する人々を対象に、参加者の事例発表や先進的事例紹介及び協議、支援者としてのスキルアップ研修、課題解決に結びつく情報の提供・交換をとおして、参加者相互の連携を深めるとともに、総合的な支援活動の充実を目指す。
主 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家 「青少年自立支援者のための研究交流フォーラム」実行委員会 【実行委員会委員(50音順)】穴澤剛行(ふるさと自然塾代表)、榊原典俊(社会福祉法人青葉仁会理事長)、佐々木豊志(くりこま高原自然学校校長)、西村仁志(同志社大学大学院 総合政策科学研究科准教授)、宮川治樹(帝塚山大学心理福祉学部心理学科准教授)
後 援	群馬県・千葉県・埼玉県・栃木県・茨城県・長野県の各県教育委員会、前橋市教育委員会、株式会社モンベル、群馬県自閉症協会、(財)日本知的障害者福祉協会、(社)精神発達障害指導者教育協会、日本野あそび協会、株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン、上毛新聞社、NHK 前橋放送局、群馬テレビ株式会社、株式会社エフエム群馬(申請予定を含む)
開 催 日	平成21年12月4日(金)～12月6日(日) <2泊3日>
対 象	青少年の自立支援者及び自立支援に関心のある社会人・学生(大学生・短期大学生・専門学校生等)・高校生
会 場	国立赤城青少年交流の家
定 員	100名(定員になり次第、締め切らせていただきます)
講 師	【分科会講師については分科会番号順】

【基調講演】 西牧謙吾氏(国立特別支援教育総合研究所 教育支援上席総括研究員 医学博士)
「脳科学から見た自立支援の指導法を考える」

【交流分科会】(シンポジウム)

- ・江頭 進 氏(栃木県モンテッソーリ治療研究会会員 栃木県立岡本特別支援学校 教諭)
- ・中谷 徳明氏(社会福祉法人青葉仁会 知的障害者社会就労センター 萌あおはに 生活支援部主任)
- ・中村 重行氏(日本野あそび協会 代表)
- ・穴澤 剛行氏(ふるさと自然塾 代表)
- ・鈴木 基司氏(みどりクリニック 院長)
- ・佐々木豊志氏(くりこま高原自然学校 校長)
- ・佐々木克典氏(学校法人白根開善学校 常務理事)
- ・宮川 治樹氏(帝塚山大学心理福祉学部心理学科准教授)
- ・桑原 綾子氏(NPO 法人コミュニケーションハンディキャップ研究会 ライフサポートここハウス 所長)
- ・西村 仁志氏(同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授)

【体験分科会】(体験協議)

- ・林 壽夫氏(株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン 代表)
- ・黛 徳男氏(アドベンチャー集団 Do! 代表)
- ・中村 重行氏(日本野あそび協会 代表)
- ・田中 誉人氏(TMCA チーフインストラクター、尼崎市立美方高原自然の家「とちのき村」ゼネラルマネージャー)
- ・就労事業施設見学
社会福祉法人 巣立ちの杜(就労継続A型事業所)
レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場
社会福祉法人 すてっぷ(就労継続B型事業所)
授産施設 とらっば
前橋福祉ショップ「みんなの店」

【ナイトセッション】 穴澤 剛行氏(ふるさと自然塾 代表)

【ふりかえり】 先日の分科会各コーディネータ

【全体会】 コーディネータ：榊原 典俊氏(社会福祉法人青葉仁会 理事長)

<交流分科会> 自立支援の課題についてのミニシンポジウム

知的・発達障害(児)者の支援を教育現場から考える

シンポジスト：江頭 進氏(栃木県モンテッソーリ治療研究会会員、栃木県立岡本特別支援学校 教諭)

コーディネータ：中谷 徳明氏(社会福祉法人青葉仁会 知的障害者社会就労センター 生活支援部主任)

特別支援教育制度への移行に伴い、学校教育現場ではどのような取組をしているのか。モンテッソーリ教育法の実践報告をもとに青少年の育成・発達支援についてシンポジストとともに考えていきます。

野あそびをとおして自立支援を考える

シンポジスト：中村 重行氏(日本野あそび協会 代表)

コーディネータ：穴澤 剛行氏(ふるさと自然塾 代表)

野あそび体験で青少年の自立心がどのように芽生えていくのかをシンポジストとともに考えていきます。

不登校・ひきこもり・ニートの青少年が社会に受け入れられるための支援について考える

シンポジスト：鈴木 基司氏(みどりクリニック 院長)

コーディネータ：佐々木豊志氏(くりこま高原自然学校 校長)

不登校・ひきこもり・ニートへの医学的視点からの考察や、そうした状態にある者への自然体験活動の有効性・効果等を検証しながらどのように社会に受け入れられるかをシンポジストとともに考えていきます。

非・反社会的問題行動をおこしたの青少年が社会に受け入れられるための支援について考える

シンポジスト：佐々木克典氏(学校法人白根開善学校 常務理事)

コーディネータ：宮川 治樹氏(帝塚山大学心理福祉学部心理学科 准教授)

非・反社会的問題行動をおこした青少年に対して、大自然の中で行っている中高一貫の全寮制教育が、どのような有効性を持っているのかをシンポジストとともに考えていきます。

自立支援を支える現場の手法と制度を考える

シンポジスト：桑原 綾子氏(NPO法人コミュニケーションハンディキャップ研究会ライフスタイル ここハウス 所長)

コーディネータ：西村 仁志氏(同志社大学大学院総合政策科学研究科 准教授)

TEACCHプログラムを参考にしながら、自閉症(児)者が「地域で自分らしく豊かに暮らす」ために、就労支援を受けながらどのように自立していくのかをシンポジストとともに考えていきます。

<体験分科会>

就労支援の現場では、どのような取り組みを行っているのか(施設見学)

見学施設：社会福祉法人 巢立ちの杜(就労継続A型事業所)

レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場

社会福祉法人 すてっぷ(就労継続B型事業所)

授産施設 とらっば

前橋福祉ショップ「みんなの店」

前橋市において就労支援活動をされている施設2カ所見学をし、施設長から事業所の取組についての講話があります。

教室・室内でできるあかぎアドベンチャープログラムとは

講師：林 壽夫氏(株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン 代表)

人が成長するための環境で、最も大切なものは信頼関係だとするプロジェクトアドベンチャープログラムから青少年の自立支援を考えます。今回は、教室・室内でも信頼関係がつけられる技法をもとに自立への足がかりをいっしょに考えます。

食をとおして、青少年の心を育むプログラムとは

講師：黛 徳男氏(アドベンチャー集団 Do! 代表)

野外での調理体験をとおして青少年の自立を促すプログラムを紹介します。今回は、WPPC ベレットを使い、環境にも配慮しながらどのように自立させていくのかを検証します。

野あそび活動をとおして、青少年の心を育むプログラムとは

講師：中村 重行氏(日本野あそび協会 代表)

日本古来の野外でのあそびを体験しながら、青少年が自立していく過程を検証します。

木登りアドベンチャーをとおして、青少年の心を育むプログラムとは

講師：田中 誉人氏(TMCA チーフインストラクター、尼崎市立美方高原自然の家「とちのき村」ゼネラルマネージャー)

木登りから見えてくる青少年の自立について、実践例を紹介しながら検証します。

主な日程

< 12月4日(金) >

- 17:30~18:30 受付(夕食は済ませてきてください)
- 18:30~19:00 開講式
- 19:00~20:30 基調講演
「脳科学から見た自立支援の指導法を考える」:西牧謙吾氏
- 20:30~21:00 オリエンテーション
- 21:00~22:30 休憩・入浴(23:00就寝)

< 12月5日(土) >

- 9:15~12:15 交流分科会
知的・発達障害(児)者の支援を教育現場から考える:江頭進氏, 中谷徳明氏
野あそびをとおして自立支援を考える:中村重行氏, 穴澤剛行氏
不登校・ひきこもり・ニートの青少年が社会に受け入れられるための支援について考える
:鈴木基司氏, 佐々木豊志氏
- 非・反社会的問題行動をおこした青少年が社会に受け入れられるための支援について考える
:佐々木克典氏, 宮川治樹氏
- 自立支援を支える現場の手法と制度を考える:桑原綾子氏, 西村仁志氏
- 12:15~13:00 昼食
- 13:00~17:00 体験分科会
就労支援の現場では, どのような取り組みを行っているのか(施設見学)
施設見学 レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場 授産施設 とらっば:前橋福祉ショップ「みんなの店」
教室・室内でできるあかぎアドベンチャープログラムとは:林壽夫氏
食をとおして, 青少年の心を育むプログラムとは:黛徳男氏
野あそび活動をとおして, 青少年の心を育むプログラムとは:中村重行氏
木登りアドベンチャーをとおして, 青少年の心を育むプログラムとは:田中誉人氏
- 17:30~18:30 活動発表
(希望者による実践発表を行います!!先着4人(組)まで)
- 18:30~20:30 ナイトセッション
- 20:30~22:30 休憩・入浴(23:00就寝)

< 12月6日(日) >

- 9:00~10:30 交流分科会の自由討議ふりかえり・まとめ
- 10:45~12:15 体験分科会の自由討議ふりかえり・まとめ
- 12:00~13:00 昼食
- 13:00~14:00 全体会(ふりかえり・まとめ)
- 14:00~14:30 閉講式

申込期間

平成21年10月1日(木)~11月18日(水)必着

定員になり次第, 締め切らせていただきます。
受講内定者の二次案内通知につきましては, 申込期間終了後, 郵送にてお知らせいたします。

参加費

- (Aタイプ) 12/4(金)~12/6(土)2泊3日 参加費 9,000円
- (Bタイプ) 12/4(金)~12/5(土)1泊2日 参加費 8,000円
- (Cタイプ) 12/5(土)~12/6(日)1泊2日 参加費 8,500円

【内訳】食事代, ナイトセッション食事代, 湯茶代, シーツ洗濯代, 傷害保険代, 教材費, 報告書代
当日受付にてお支払いいただきます。

< 保険内容 > 保険種類: 傷害保険

死亡・後遺障害	1,135万円
入院日額	10,000円
通院日額	5,000円

【宿泊について】

今年度, 国立赤城青少年交流の家では, 耐震改修工事のため, 宿泊棟は使用できません。そのため, 8名から15名程度の大部屋宿泊になります。大変ご不便をおかけいたしますがご了承下さい。

持ち物

参加費, 上履き, 洗面具, パジャマ類, 健康保険証(写しも可), 筆記用具

申込方法

参加申込書に必要事項をご記入の上, 下記の宛先まで郵送かFAX, またはE-mailにてお申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は, 電話で着信の確認をお願いいたします。

E-mailでお申し込みの場合は, 件名に必ず「青少年自立支援者事業」の文字を明記してください。

当日, 無料送迎バスがご利用できます(時刻指定)。ご希望の方は, 参加申込の際にお申し出ください。

< 申し込み先・問い合わせ >

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

TEL 027-289-7224 FAX 027-289-7226 E-mail akagi21kikaku@niye.go.jp

URL http://akagi.niye.go.jp/

担当: 企画指導専門職 棚谷 克彦・石川一彦

平成 21 年度 国立赤城青少年交流の家特別事業
「青少年自立支援者のための研究交流フォーラム」 参加申込書

申込日：平成 年 月 日

ふりがな 氏名		性別	男性・女性	年齢	歳
住所	〒 アパート名と部屋番号も必ずご記入ください。				
TEL	(自宅)		(携帯)		
FAX		E-mail アドレス			
活動団体名 又は所属名					
A～Cのご希望の参加タイプを んでください。	(A)	12/4(金)～12/6(日)	2泊3日	参加費	9,000円
	(B)	12/4(金)～12/5(土)	1泊2日	参加費	8,000円
	(C)	12/5(土)～12/6(日)	1泊2日	参加費	8,500円
交流分科会について、参加希望の分科会番号を で囲んでください。					
第1希望	1	2	3	4	5
第2希望	1	2	3	4	5
体験分科会について、参加希望の分科会番号を で囲んでください。					
第1希望	1	2	3	4	5
第2希望	1	2	3	4	5

当日の交通手段について、送迎バス利用希望の場合は下の空欄に で囲んでください。

前橋駅～国立赤城青少年交流の家間の送迎バス(無料)を運行いたします。

送迎バス 利用希望		行き 12/4日(金)前橋駅発 17:20	国立赤城青少年交流の家着 18:00
		行き 12/5日(土)前橋駅発 8:00	国立赤城青少年交流の家着 8:40
		帰り 12/5日(土)国立赤城青少年交流の家発 20:45	前橋駅着 21:25
		帰り 12/6日(日)国立赤城青少年交流の家発 14:45	前橋駅着 15:25

【個人情報について】

本事業の参加申込手続きにおきまして、申込者から提出された個人情報を事業の事務手続き、及び広報調査に関する統計並びに事業案内の発送に付随する運營業務のために利用します。その取り扱いについては細心の注意を払い、厳重に管理します。予め申込者の同意がある場合、及び法令等に基づき要請された場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

【宿泊について】

今年度、国立赤城青少年交流の家では、耐震改修工事のため、宿泊棟は使用できません。そのため、8名から15名程度の大部屋宿泊になります。大変ご不便をおかけいたしますがご了承下さい。

【実践事例集について】 優秀事例には「赤城青少年自立支援特別賞」を贈呈いたします！！

本事業に参加される方の中で「自立支援に関する取組事例」があれば、別紙の「実践事例集」シートにご記入いただき FAX、メール、郵便等でお送りください。必要に応じて適宜、行を挿入・削除したり、記載項目等を変更していただいてもかまいません。絵・写真・図・イラスト等を入れていただいても結構です。

お送りいただいたシートはホームページの「実践事例集」に掲載いたします。

また、事業中に参加者の投票により、優秀事例を選出し表彰いたします。なお、「実践事例集」シートは、本所のホームページより「一太郎版」「WORD版」がダウンロードできます。ご利用ください。

お申し込み、ありがとうございました。

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
「 青少年自立支援者のための研究交流フォーラム 」
実践事例集

事例 No. _____

本事例についてのお問い合わせは

--

までお願いいたします

団体名 (個人名)	
団体(個人) 所在地	〒 -
TEL 番号	
FAX 番号	
メールアドレス	
記載者の職・氏名	

実践のあらまし

実践の内容

まとめ

以下の2つの「活動申込書」は必要な方のみご記入の上、FAXでお申し込みください。

「ポスターセッション」申込書		【 12月5日(土) 】
希望時間帯	12月5日(土)()時()分 ~ ()時()分まで	
団体名		
責任者氏名		
連絡先		
内容を簡単にお書きください。		
赤城青少年交流の家への物品等の貸し出しの要望がありましたらお書きください。なお、場所や機材等の貸出で、ご希望に添えない場合があります。		

----- き り と り せ ん -----

「活動発表」申込書		【 12月5日(土) 17:30 ~ 18:30 】
先着4人(組)までとし、1人(組)の発表時間は15分以内厳守でお願いいたします。 場所は講堂のステージ上です。(視聴覚機器,照明等あり)		
団体名		
責任者氏名		
連絡先		
内容を簡単にお書きください。		
赤城青少年交流の家への物品等の貸し出しの要望がありましたらお書きください。なお、機材等の貸出で、ご希望に添えない場合があります。		